

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、新規の検査拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [05457] 抗RNAポリメラーゼⅢ抗体

受託開始日

- 平成22年11月1日(月)

抗RNAポリメラーゼⅢ抗体

全身性強皮症は原因不明の皮膚硬化疾患であり、びまん型と限局型の2種類の亜型が存在します。びまん型は皮膚硬化範囲が全身におよび、臨床経過も急速に変化し、重症となる場合が多く、血清中に抗Scl-70抗体(抗トポイソメラーゼⅠ抗体)が検出されます。

一方、限局型は皮膚硬化範囲が肘および膝より遠位に限局され、予後も比較的良好な場合が多く、一般に抗セントロメア抗体が検出されます。

これらの自己抗体の測定はそれぞれの病型の分類に有用とされ、合わせて測定することで、陽性率が向上します。

抗RNAポリメラーゼⅢ抗体は、びまん型の全身性強皮症にきわめて特異性が高く、他の自己抗体(抗Scl-70抗体、抗セントロメア抗体)とは共存する例がほとんど無いこと、抗RNAポリメラーゼⅢ抗体の陽性例では強皮症腎クリーゼを高率に併発することなどから、全身性強皮症の診断、病型分類、治療方針における補助情報として有用となります。

検査要項

項目コード	05457
検査項目名	抗RNAポリメラーゼⅢ抗体
検体量	血清0.3mL
保存方法	凍結
検査方法	EIA
基準値	28未満(index値)
所要日数	3~9日
検査実施料	170点([D014]自己抗体検査「10」抗Scl-70抗体)
判断料	144点(免疫学的検査)
定価	3,000円
備考	ア：血清中抗RNAポリメラーゼⅢ抗体は、抗Scl-70抗体に準じて算定する。 イ：びまん性型強皮症の確定診断を目的として行った場合には、1回を限度として算定できる。 ウ：イの診断において陽性と認められた患者に関し、腎クリーゼのリスクが高い者については治療方針の決定を目的として行った場合に、腎クリーゼ発症後の者については病勢の指標として測定した場合に、それぞれ3月に1回を限度として算定できる。

参考文献

Kuwana M, et al. Arthritis Rheum. 2005, 52 : 2425-2432.